

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専門学校トヨタ名古屋自動車大学校
設置者名	学校法人トヨタ名古屋整備学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
工業専門課程	自動車整備科	夜・通信	992 時間	160 時間	
	高度自動車科	夜・通信	2,491 時間	320 時間	
	シヨールームスタッフ科	夜・通信	427 時間	160 時間	
	車体整備専攻科	夜・通信	1,219 時間	80 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<https://ssl.toyota-ten.ac.jp/school-info/>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	専門学校トヨタ名古屋自動車大学校
設置者名	学校法人トヨタ名古屋整備学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://ssl.toyota-tn.ac.jp/information/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	会社役員	2022.6.1 ~ 2026.5.31	経営計画の策定
非常勤	会社役員	2022.6.1 ~ 2026.5.31	経営計画の策定
非常勤	会社役員	2022.6.1 ~ 2026.5.31	経営計画の策定
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校トヨタ名古屋自動車大学校
設置者名	学校法人トヨタ名古屋整備学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p><授業計画書(シラバス)の作成過程></p> <p>2月初旬 管理部署より各教科担当者にシラバスの作成変更点の説明と作成の依頼を実施</p> <p>2月初旬～ 教科担当者は当該年度の実績をもとに次年度のシラバスを作成(シラバスに授業概要、到達目標、成績の評価方法を記載)</p> <p>3月初旬 当該年度担当者による次年度シラバス完成</p> <p>3月初旬～ 次年度の教科担当者が前年度担当者作成のシラバスを確認修正</p> <p>3月下旬 次年度シラバス完成 (管理部署は作成段階のシラバスを随時チェック)</p> <p><授業計画書の作成・公表></p> <p>4月初旬 始業式にシラバスを各教室に掲示 2022年から4月1日にHPにアップロードすることで公表 (2019年7月25日よりHP閲覧に変更済み)</p>	
授業計画書の公表方法	http://www.toyota-tcn.ac.jp/information/
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>授業科目の学修成果の評価は学則19条で定めて以下のように運用している。</p> <p><評価方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習効果の評価するため、定期試験を行う。また、必要に応じ中間試験も行う。 ・学科は筆記試験を、実習は実技試験を原則とする。学科試験及び実技試験をレポートに置き換えることがある。 ・期末試験結果に中間試験結果、課題レポートを加味し、その学期の評価を行う。 <p><定期試験受験資格と合否判定></p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題レポートが期限までに提出されていない場合は定期試験を受けることができない。 ・100点満点中60点以上でその科目を合格したものとする。 <p><修了認定></p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期試験を全科目合格した者は、出席状況、就学態度の良否を勘定の上、修了認定会議の審議を経て、当該学年を修了したものと認定する。 ・各科目の出席は指定の教科時間を満たさなければ修了を認めない。 <p>(自動車整備科、高度自動車科1・2年:教科時間の90%以上、高度自動車科3・4年:教科時間の80%以上、シールームスタッフ科:学科については教科時間の88%、実習に関しては85%以上、車体整備専攻科:教科時間の85%以上)</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p><成績評価の客観的な指標の設定・公表></p> <p>成績評価は、その評価方法を教科ごとに設定し、シラバスに明示している。また、シラバスは教室に掲示することで公表している。</p> <p><成績分布状況把握></p> <p>総合成績を全科目の平均得点率で算出し、平均得点率の高い順に学年単位で順位を決定し、成績分布を作成している。また、総合成績の算出方法はHPにて公表している。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>https://ssl.toyota-tcn.ac.jp/information/</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

ディプロマポリシーを以下のように設定し、HPにて公表している。

また、シラバスにはその科目内容とディプロマポリシーの関連を示し、科目を修了することでディプロマポリシーの目標達成を実施している。

<自動車整備科>

教育理念の実現を目標として、次の学識と能力を身につけ、所定の教育時間を修了し、卒業認定を受けた学生に「専門士」の称号を授与します。

- ・国家二級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている
- ・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を理解し、点検・修理を正確に行う技能を身につけている
- ・サービススタッフとしてのお客様対応力、良好な人間関係を築くことができる基本的なコミュニケーション能力を身につけている

<高度自動車科>

教育理念の実現を目標として、次の学識と能力を身につけ、所定の教育時間を修了し、卒業認定を受けた学生に「高度専門士」の称号を授与します。

- ・国家一級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている
- ・就職先に貢献できる自動車の構造・作動を深く理解し、点検・修理・故障探求を正確に行う技能を身につけている
- ・自動車工学の基礎知識を修得し、新技術に対応できる応用力を身につけている
- ・サービススタッフとしてのお客様対応力、良好な人間関係を築くことができるコミュニケーション能力と知識に基づく技術説明能力を身につけている

<ショールームスタッフ科>

教育理念の実現を目標として、次の学識と能力を身につけ、所定の教育時間を修了し、卒業認定を受けた学生に「専門士」の称号を授与します。

- ・自動車販売店のショールームにおいて、お客様に豊かなカーライフを提供できる知識と接客能力を身につけている
- ・商品・サービスの販売促進企画能力、プレゼンテーション能力を身につけている
- ・国家三級自動車整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている

<車体整備専攻科>

教育理念の実現を目標として、次の学識と能力を身につけ、所定の教育時間を修了した学生に卒業の認定を行ないます。

- ・車体整備士の職能に必要な知識・技術を身につけている
- ・ボデーの外板補修とソリッド・メタリックの塗装技能を身につけている
- ・ボデー外板補修のための事故の見積もり、労働安全衛生・環境保全の知識を身につけている

卒業の認定に関する
方針の公表方法

<https://ssl.toyota-tn.ac.jp/information/>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校トヨタ名古屋自動車大学校
設置者名	学校法人トヨタ名古屋整備学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://ssl.toyota-tcn.ac.jp/information/
収支計算書又は損益計算書	https://ssl.toyota-tcn.ac.jp/information/
財産目録	事務所にて閲覧を申し入れる
事業報告書	事務所にて閲覧を申し入れる
監事による監査報告（書）	https://ssl.toyota-tcn.ac.jp/information/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	自動車整備科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	昼		講義	演習	実習	実験	実技
2年		2, 3 7 8 単位時間	1 2 2 5 単位時間		1 4 1 7 単位時間		
			2, 6 4 2 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
5 6 0人		2 7 5人	1 5人	1 8人	0人	1 8人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 各教科において年間のシラバスを作成し、シラバスに授業概要や準備品、学科・実習の区分、授業計画等を示し年度初めに公表している。
成績評価の基準・方法
（概要） 成績評価の方法は各教科のシラバスに記載している。 合格基準については学則にて100点満点中60点以上で合格と定めている。
卒業・進級の認定基準
（概要） 全科目合格した者について、出席状況、就学態度の良否を勘定の上、修了認定会議の審議を経て、当該学年を修了したものと認定している。
学修支援等
（概要） 担任が保護者や学生との面談や電話での現状確認等を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
185人 (100%)	42人 (22.7%)	143人 (77.3%)	人 (%)
(主な就職、業界等) トヨタ系自動車販売会社、新車開発スタッフ、サービス技術スタッフ等			
(就職指導内容) キャリア支援授業 校内就職ガイダンス 話し方講座 会社研究会 面接・マナー教育 校内企業説明会 面接指導 履歴書添削 就職相談			
(主な学修成果（資格・検定等）) 二級ガソリン自動車整備士、二級ガソリン自動車整備士、トヨタ技術検定3級			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
345人	16人	4.6%
(中途退学の主な理由) 意欲低下、成績不振、進路変更など		
(中退防止・中退者支援のための取組) 頻繁に欠席する学生との電話連絡や面談の実施、成績不振者に勉強の仕方の指導等の実施		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	高度自動車科		○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	4,602 単位時間	2119 単位時間		3302 単位時間		
			5,421単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
480人		424人	10人	26人	0人	26人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 各教科において年間のシラバスを作成し、シラバスに授業概要や準備品、学科・実習の区分、授業計画等を示し年度初めに公表している。
成績評価の基準・方法
（概要） 成績評価の方法は各教科のシラバスに記載している。 合格基準については学則にて100点満点中60点以上で合格と定めている
卒業・進級の認定基準
（概要） 全科目合格した者について、出席状況、就学態度の良否を勘定の上、修了認定会議の審議を経て、当該学年を修了したものと認定している。
学修支援等
（概要） 担任が保護者や学生との面談や電話での現状確認等を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
82人 (100%)	人 (%)	82人 (100%)	人 (%)
（主な就職、業界等） トヨタ系自動車販売会社、新車開発スタッフ、サービス技術スタッフ等			
（就職指導内容） キャリア支援授業 校内就職ガイダンス 会社研究会、校内企業説明会、履歴書添削 就職相談			
（主な学修成果（資格・検定等）） 1級語型自動車整備士、二級ガソリン自動車整備士、二級ガソリン自動車整備士、 トヨタ技術検定2級			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
368人	10人	2.7%
(中途退学の主な理由) 意欲低下、進路変更、成績不振など		
(中退防止・中退者支援のための取組) 頻繁に欠席する学生との電話連絡や面談の実施		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	シヨールムスタッフ科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,810 単位時間	1073 単位時間		1056 単位時間		
			2,129単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		24人	0人	3人	0人	3人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 各教科において年間のシラバスを作成し、シラバスに授業概要や準備品、学科・実習の区分、授業計画等を示し年度初めに公表している。
成績評価の基準・方法
（概要） 成績評価の方法は各教科のシラバスに記載している。 合格基準については学則にて100点満点中60点以上で合格と定めている
卒業・進級の認定基準
（概要） 全科目合格した者について、出席状況、就学態度の良否を勘定の上、修了認定会議の審議を経て、当該学年を修了したものと認定している。
学修支援等
（概要） 担任が保護者や学生との面談や電話での現状確認等を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
21人 (100%)	人 (%)	21人 (100%)	人 (%)
（主な就職、業界等） トヨタ系自動車販売会社、新車開発スタッフ、サービス技術スタッフ等			
（就職指導内容） キャリア支援授業 校内就職ガイダンス 校内企業説明会 会社研究会 面接指導 履歴書添削 就職相談			
（主な学修成果（資格・検定等）） ガソリン三級自動車整備士、トヨタ技術検定4級			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
32人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 本人・保護者との面談の実施		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
工業		工業専門課程	車体整備専攻科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	1 1 1 0 単位時間	3 5 4 単位時間		9 5 1 単位時間		
			1, 3 0 5 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
4 0 人		2 2 人	0 人	3 人	0 人	3 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 各教科において年間のシラバスを作成し、シラバスに授業概要や準備品、学科・実習の区分、授業計画等を示し年度初めに公表している。
成績評価の基準・方法
（概要） 成績評価の方法は各教科のシラバスに記載している。 合格基準については学則にて 100 点満点中 60 点以上で合格と定めている。
卒業・進級の認定基準
（概要） 全科目合格した者について、出席状況、就学態度の良否を勘定の上、修了認定会議の審議を経て、当該学年を修了したものと認定している。
学修支援等
（概要） 担任が保護者や学生との面談や電話での現状確認等を実施している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
2 2 人 (100%)	5 人 (22.7%)	1 5 人 (77.3%)	人 (%)
（主な就職、業界等） トヨタ系自動車販売会社等			
（就職指導内容） キャリア支援授業 校内就職ガイダンス 会社研究会 面接・マナー教育 校内企業説明会 面接指導 履歴書添削 就職相談			
（主な学修成果（資格・検定等）） 自動車車体整備士、トヨタボディー検定3級 トヨタペイント検定3級 トヨタエステメーション検定3級			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
22人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 頻繁に欠席する学生との電話連絡や面談の実施、成績不振者に勉強の仕方の指導等の実施		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
自動車整備科	250,000 円	500,000 円	540,000 円	
高度自動車科	250,000 円	500,000 円	560,000 円	
シヨールーム スタッフ科	250,000 円	500,000 円	540,000 円	
車体整備 専攻科	250,000 円	500,000 円	620,000 円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://ssl.toyota-ten.ac.jp/information/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 平成25年3月に文部科学省が策定した「専修学校における学校評価ガイドライン」に基づき、本校全般の運営(経営、教育活動、財務、法遵守、社会貢献等)の現状を自己点検・評価して更なる改善・向上に取り組むと共に、自己評価報告書に基づき学校運営に関係の深い団体・企業、保護者の方々にご意見等を幅広くお聞きし、今後の学校運営や教育活動に反映させるべく「学校関係者評価」を実施。学校関係者評価委員の方々のご意見・ご指導を頂ながら、職員が一丸となって改善を図り、教育水準の一層の向上に努めることを基本方針とする。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
トヨタ自動車株式会社	2022. 4. 1～2023. 3. 31	企業
清須市	2022. 4. 1～2023. 3. 31	地域の方
名古屋トヨペット株式会社	2022. 4. 1～2023. 3. 31	就職先
保護者	2022. 4. 1～2023. 3. 31	保護者
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://ssl.toyota-ten.ac.jp/information/		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		



c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

<https://ssl.toyota-tcn.ac.jp/information/>